

憲法調査会基調発言（ODAのあり方を中心として）

2003年4月3日

首藤信彦

1. ODAと憲法
2. 賠償、経済協力と海外援助
3. 憲法上の根拠
4. 世界を動かしつつある崇高な理想
5. 世界益と国益
6. 変容する冷戦後世界と激変する社会
7. 国際機構の失敗
8. 新しい要素：
  - 安全保障と経済援助の相関性
  - 国家と国境の変容
  - グローバル視座
  - 人間の安全保障
  - ガバナンス・民主化、貧困
  - 市民社会組織（CSO）と89条
9. あらたな憲法上の根拠を求めて